

看護学科

講 義 要 綱

科目	成人看護の方法Ⅰ 呼吸・循環機能障害をもつ患者の看護	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	担当者	看護師：加茂川将美 (28) 慢性心不全看護認定 看護師：平岡佐知子 (2)
----	-------------------------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	--

講義目標	<p>1. 呼吸・循環機能のメカニズム、役割を理解できる。</p> <p>2. 呼吸・循環機能障害が生命や日常生活にどのように影響を与えているのかを理解できる。</p> <p>3. 呼吸・循環機能障害の様々な症状を理解し、その情報収集、アセスメント、看護援助について理解できる。</p> <p>4. 呼吸・循環機能障害の検査や治療の目的および看護を理解できる。</p> <p>5. 呼吸・呼吸機能障害をもつ患者の看護をについて主要疾患をもとに学ぶことができる。</p>								
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目				備考や担当者		
	1	呼吸機能とは 生命・生活の維持に果たしている役割 呼吸機能障害の健康への影響					講義 振り返りシート提出		
	2	呼吸機能障害による症状・看護 呼吸困難・咳と痰・喀血のある人への看護	69：安楽な体位の調整 70：安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア				グループワーク 学びの共有・発表 振り返りシート提出		
	3	呼吸機能の検査・治療・看護	31：ネブライザーを用いた気道加湿 56：検査の介助 68：人工呼吸器の操作・管理				講義 振り返りシート提出		
	4	慢性閉塞性肺疾患の患者への看護 事例患者のアセスメント・看護	69：安楽な体位の調整 70：安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア				講義 課題提示 事例患者のアセスメント 振り返りシート提出		
	5	慢性閉塞性肺疾患・肺がん患者の看護 事例患者のアセスメント・術前看護							
	6	肺がん患者の看護 事例患者のアセスメント・看護							
7	肺がん患者の看護 事例患者のアセスメント・術後看護 循環機能とは 生命・生活の維持に果たしている役割 循環機能障害の健康への影響					講義 課題提示 事例患者のアセスメント 振り返りシート提出			

	8	循環機能障害による症状・看護 胸痛・ショックのある人への看護 循環機能の検査・治療・看護	69：安楽な体位の調整 70：安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア	グループワーク 学びの共有・発表 振り返りシート提出
	9	虚血性心疾患の患者への看護 事例患者のアセスメント・看護		講義 課題提示 事例患者のアセスメント
	10	虚血性心疾患の患者への看護 事例患者のアセスメント・看護		講義 課題提示 事例患者のアセスメント 振り返りシート提出
	11	虚血性心疾患の患者への看護 事例患者のアセスメント・看護 不整脈のある患者への看護		講義 振り返りシート提出
	12	不整脈のある患者への看護		講義 振り返りシート提出
	13	心不全患者への看護		講師： 平岡佐和子
	14	不整脈のある患者への看護 まとめ		講義
	15	終了試験		
評価方法	筆記試験85点、課題の提出状況・内容・グループワークの参加度・確認テスト15点の合計で60点以上を合格とします。 但し、筆記試験で呼吸機能・循環機能で各60%に満たない場合は課題を提示します。			
学生への要望	1年次に学んだ呼吸器・循環器の解剖生理学、下記にある主要疾患の病態について復習して講義に臨んで下さい。 ・慢性閉塞性肺疾患・肺がん ・虚血性心疾患・心不全 春休みに授業内で症状別看護の学びの共有を行うための課題があります。			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器・循環器 看護過程に沿った対症看護 第5版 カルク秀潤社	医学書院 学研メディア		
ト	写真でわかる臨床看護技術 ② ディカ	本庄恵子	インターメディア	
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論	医学書院		

参考文献	①書名	②著者名	③発行所
	新体系看護学 別巻5 呼吸機能障害／循環機能障害		メヂカルフ
	レンド社		
	病気がみえる 呼吸器・循環器		メディック
	メディア		

看護学科 講義要綱

科目	成人看護の方法Ⅱ (消化吸収・栄養代謝・内部環境調節機能障害をもつ患者の看護)	単位	1	時間数	16 (30)	開講期	2年 前期	担当者	看護師：木下 真理子 (14)
									笹田 恵 (2)

講義の目標	【消化吸収・栄養代謝機能障害をもつ患者の看護】 消化吸収・栄養代謝機能障害をもつ患者へ、自己の知識を活用し援助の方法を学ぶ。			
	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	担当者
講義項目	1	知識確認テスト 消化吸収機能・栄養代謝機能とは何か、消化吸収機・栄養代謝機能障害が生命や生活に与える影響について理解する。		木下
	2	消化吸収機能障害の検査や治療の目的および看護を理解する。(内視鏡検査における看護)		笹田
	3	消化吸収機能障害の治療(胃がんの手術療法)に対する看護を理解する。		木下
	4	消化吸収機能障害の治療(胃がんの手術療法)に対する看護を学ぶ。(GW)		
	5	栄養代謝機能障害の症状を理解し、その情報収集、アセスメント、看護援助について理解する。(肝炎・肝硬変) (浮腫、腹水、出血傾向、黄疸、掻痒感、肝性脳症、倦怠感)		4：食事指導
	6	栄養代謝機能障害の治療について理解し、看護援助につなげる。		
	7	栄養代謝機能障害の症状、検査や治療を理解し、看護援助を立案する。(GW)		
	8	栄養代謝機能障害をもつ患者に対する看護を学ぶ。(GW)		
評価方法	筆記試験 課題への取り組み(課題はほぼ毎回出す予定です。)			

受講生への要望	すでに講義を受けた消化吸収・栄養代謝機能の解剖生理学を復習して講義に臨んでください。		
テキスト	① 書名 発行所 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 学書院	② 著者名	③ 医
スト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 学書院		医

看護学科 講義要綱

科目	成人看護の方法Ⅱ (消化吸収・栄養代謝・内部環境調節機能障害をもつ患者の看護)	単 位 1	時 間 数 14 (30)	開 講 期 2年 後期	担 当 者 看護師：今井 弓珠 (12) 透析看護認定看護師： 飯沼 千波 (2)
----	--	-------------	---------------------------	-------------------------	--

講義目標	【内部環境調節機能障害】 内部環境調節機能障害をもつ患者の事例展開をもとに、看護問題から具体的な計画を立案し患者・家族への提案内容を挙げる。				
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	備考 (課題・提出物)	担当
	1	知識定着確認テスト (内部環境調整にかかわる機能) 内部環境の調整を図るとは何か バセドウ病の患者の看護		内分泌：第1章～第2章 腎・泌尿器：第1章～第2章を復習して臨む 授業後振り返りシート提出	今井
	2	小テスト 糖尿病 糖尿病性腎症(その他ネフローゼ症候群・糸球体腎症・腎不全含む) 看護の視点で病気を理解する 事例の特徴を捉える	4：食事指導	事例展開課題様式Ⅰ ⇒コピーして提出 事前に配布した文献を読む 授業後振り返りシート提出	

	3	事例展開 看護の視点で情報分析・解釈して 方向性を導き出す		事例展開課題様式Ⅱ ⇒コピーして提出 授業後振り返りシート 提出	
	4	腎代替え療法について (透析看護認定看護師)		授業後振り返りシート 提出	飯 沼
	5	糖尿病性腎症の患者の看護 患者へ具体的な提案(看護問題の 明確化から目標と援助方法を導き 出す)	4: 食事指 導	模造紙を使った資料提 示 ⇒授業開始までに提示 リターンカードを2枚 セットで各チームの用 紙に添付し提出する 授業後振り返りシート 提出	加 茂 川
	6	プレゼンテーション			
	7	終了試験			
評価 方法	課題5点平均+小テスト10点+プレゼン10点+終了試験15点の40点で評価 成人看護の方法Ⅱ(消化吸収・栄養代謝)と60点の合算となります				
	<p>事例看護展開 課題 5点満点平均点加算</p> <p>*課題評価基準</p> <p>5:すべての項目を文章で情報の意味を説明している</p> <p>3:すべての項目をみだしていない</p> <p>2:解釈分析が不十分である 情報の意味を記述していない部分がある</p> <p>1:期限外に提出 0:提出していない</p> <p>振り返りシート:課題の範囲とする 提出期限:授業があった日のうちに提出 事例展開の課題解決方法ワークに関し、ルーブリック評価表を用いて10点満点 で評価。</p> <p>小テスト3回以上行い、10点満点平均点加算する</p> <p>筆記試験 15点 合計 40点満点</p>				
学生 要望	上記評価方法について初回の授業時に事例と共に配布説明をするので掲示板を へのみて行動すること。 試験を受けるにあたり、授業時間に加え、出欠席に関係なく、全部のレポート が提出されることが条件となる。				
テキ スト	①書名	②著者名	③発行所		
	系統看護学口座 専門分野Ⅱ	内分泌・代謝	医学書院		
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ	腎・泌尿器	医学書院		
	全時間共通のテキストを使います				
参考 文献	①書名	②著者名	③発行所		
	系統看護学講座 専門基礎	解剖生理学	医学書院		
	系統看護学講座 別巻	臨床検査	医学書院		
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学総論	医学書院		

看護学科

講 義 要 綱

科目	成人看護の方法Ⅲ (脳神経・運動機能障害をもつ患者の看護)	単 位	1	時 間 数	16 (30)	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：玉木 恭 子
----	----------------------------------	--------	---	-------------	------------	-------------	----------	-------------	---------------

講 義 目 標	【脳神経機能障害】								
	1. 脳神経機能のメカニズムと役割を理解する。								
	2. 脳神経機能障害が生命や日常生活にどのような影響を与えているのかを理解する。								
講 義 計 画	3. 脳神経機能障害の症状を理解し、情報収集、アセスメント、看護援助について理解する。								
	4. 脳神経機能障害の検査や治療の目的および看護を理解する。								
	5. 脳神経機能障害をもつ患者の看護について主要疾患をもとに学ぶ。								
	回数	学習内容				看護師教育の技術項目		備考	
	1	脳神経の解剖生理と機能 ・脳神経系機能を考える 「脳と心 秘められた復元力—発達と再生—」をみて脳神経疾患と人の症状と回復について考える						講義 (DVD) グループワーク 課題：小テスト	
	2	脳神経系機能障害からみられる主要症状 ・意識障害の定義や観察法と必要な看護 (意識状態の観察・意識レベルの確認・対光反射) ・高次脳障害の定義・観察法と必要な看護 (視覚性失認、身体失認、半空間無視、注意障害、機能遂行障害、記憶障害、観念執行など) ・運動機能障害の定義・麻痺の分類や程度について				52: フィジカルアセスメント (意識状態の観察・意識レベルの確認・対光反		講義 課題：小テスト 指定された期日に事例のくも膜下出血の患者の常在条件・病的条件と全体像の作成と提出	

3	<p>くも膜下出血の看護 発症～急性期まで 事例から病態生理・治療・看護まで学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くも膜下出血の特徴と症状：頭蓋内のためケア 圧亢進症状、髄膜刺激症状、再出血時の症状 ・検査：CTとMRI、腰椎穿刺 ・治療：ドレナージ管理 ・看護：必要な看護についての検討… 再出血のリスクがある対象の全体像と看護 	<p>66：放射線被ばく防止策の実施 70：安楽の促進・苦痛の緩和</p>	<p>講義・GW 課題：小テスト</p>
4	<p>くも膜下出血の看護 亜急性期～回復期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査：脳血管造影検査、脳波検査 ・治療：放射線療法、リハビリテーション ・看護：看護問題抽出 		<p>講義・GW 課題：小テスト 指定された期日までに事例の脳腫瘍患者の常在条件・病的条件と全体像の作成・提出</p>
5	<p>脳腫瘍の患者の看護 発症～回復期まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳腫瘍の特徴 症状：運動麻痺・感覚麻痺、 検査：CT、脳血管造影、PET ・治療：放射線療法とリハビリ療法 ・看護：成人期の特徴と家族看護 脳腫瘍の患者（回復期）における看護問題と看護計画の立案 	<p>66：放射線被ばく防止策の実施</p>	<p>講義・GW 課題：小テスト 次回、授業の看護計画立案のグループ分けを、事前学習</p>
6	<p>脳腫瘍の患者の看護 回復期における看護計画立案 各グループで、問題点を1つ選択し、看護計画（目標・計画）を立案し、発表する</p>		<p>講義・GW・発表</p>
	筆記試験		
評価方法	<p>筆記試験（40点程度） 看護計画グループ発表（5～7点程度） 授業後に振り返りと予習を兼ねた小テストを出しています。小テストの提出状況も配点します。（5～7点程度）</p>		
学生への要望	<p>すでに講義を受けた脳神経機能の解剖生理学を復習して講義に臨んで下さい。解剖生理学の教科書を使いながら学習してください。 脳神経機能障害は、目に見える症状と脳内で起こっていることを理解することが必要になります。脳神経障害のイメージを持って、講義に参加してください。</p>		

テキスト	① 書名 系統看護講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 看護過程に沿った対症看護 第5版 カル秀潤社	② 著者名	③ 発行所 医学書院 学研メディア
参考文献	① 書名 行所 病気がみえる vol.7 脳・神経 メディア エキスパートナース「脳」から起こる症状・徴候見抜き方ガイド	② 著者名	③ 発行所 メディック 照林社

看護学科

講 義 要 綱

科目	成人看護の方法Ⅲ (脳神経・運動機能障害をもつ患者の看護)	単 位	1	時 間 数	14 (30)	開 講 期	2年 前期	担 当 者	看護師：加茂川将美
----	----------------------------------	--------	---	-------------	-------------	-------------	----------	-------------	-----------

講 義 目 標	【運動機能障害】 1. 運動機能のメカニズム、役割を理解する。 2. 運動機能障害が生命や日常生活にどのように影響を与えているのかを理解する。 3. 運動機能障害の様々な症状を理解し、その情報収集、アセスメント、看護援助について理解する。 4. 運動機能障害の検査や治療の目的および看護を理解する。 5. 運動機能障害をもつ患者の主要疾患をもと看護について学ぶ。		
講 義	回数 学習内容 1 運動機能障害と生活 1. 運動機能とは何か 2. 運動機能とその障害 3. 運動機能障害がもたらす生命・生活への影響	看護師教育の 技術項目	備考 振り返り シート 提出

計画	2	<p>援助のための知識と技術</p> <p>1. 患者の特徴 2. 看護の役割 3. 日常生活に対する援助</p> <p>4. 床上での離床訓練 5. 物理的環境の整備 6. 排泄の管理</p>	<p>7: 排泄援助 65: 安全な療養環境の整備 (転倒・転落・外傷予防)</p>	<p>振り返りシート提出</p>
	3	<p>運動機能障害の把握と看護</p> <p>1. 運動機能の検査に伴う看護 関節穿刺・骨穿刺・腰椎穿刺・関節造影・脊髄撮影・ADL査定・MMT・ROM測定・四肢運動の援助長の測定</p> <p>2. 運動機能障害の治療に伴う看護 1) 保存療法 (整復、固定) ①ギブス固定 ③関節可動域訓練 ②牽引療法 ④筋力増強訓練 2) 手術療法</p>	<p>14: 歩行・移動介助 17: 自動・他動運動の援助 56: 検査の介助</p>	<p>5・6講義発表に向けた課題の提示 振り返りシート提出</p>
	4	<p>症状に対する看護</p> <p>1. 神経症状 (腓骨神経麻痺・橈骨神経麻痺・正中神経) 2. 麻痺 循環障害と フォルクマン拘縮 3. 疼痛 4. 出血 5. 感染 6. 深部静脈血栓</p>	<p>17: 自動・他動運動の援助 52: フィジカルアセスメント</p>	<p>振り返りシート提出</p>
	5	<p>運動機能障害をもつ持つ患者の看護</p>		<p>GW発表</p>
	6	<p>発表/事例ごとの発表 (腰部椎間板ヘルニア・脊髄損症・変形性膝関節症・リウマチ) 4つの疾患について、お互いに理解を深め、専門職者に近づけられる発表を各担当グループで行う</p>		<p>振り返りシート提出</p>
	7	<p>まとめ</p>		<p>講義</p>
	<p>終了試験</p>			
評価方法	<p>・筆記試験：課題点と合わせて50点 但し筆記試験で60%に満たない場合は課題を提示 (脳神経・運動機能障害をもつ患者の看護)と合わせて100点 ・課題への取り組み・提出状況 ・グループワークの評価 (資料内容・発表状況・参加状況)</p>			

学生への要望	成人看護学は看護の基本となる分野です。 実習で活かせる知識となるように積極的に学習してください。		
テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 看護過程に沿った対症看護 第5版 ル秀潤社	②著者名	③発行所 医学書院 学研メディアカ
参考文献			

看護学科

講 義 要 綱

科目	成人看護の方法Ⅳ (身体防御・感覚・性生殖機能障害をもつ患者の看護)	単 位	1	時 間 数	16 (30)	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：亀山 美穂 (12) がん化学療法看護 認定看護師：岩科 麻見 (4)
----	---------------------------------------	--------	---	-------------	------------	-------------	----------	-------------	---

講義の目標	【身体防御機能障害】 1 身体防御機能のメカニズム、役割を理解する。 2 身体防御機能障害が生命や日常生活にどのように影響を与えているのかを理解する。 3 身体防御機能障害の症状を理解し情報収集、アセスメント、看護援助について理解する。 4 身体防御機能障害の検査や治療の目的および看護を理解する。		
回数	学習内容	備考	担当教員
1	身体防御機能とは 血液と免疫（アレルギーの機序）の病態生理 1次バリア・2次バリア・サポート機能について	講義 教科書1), 2), 3)	亀山美穂

講義項目	2	I型アレルギー症状がある患者の看護 アトピー性皮膚炎の病態生理・検査・治療と看護	講義 教科書2), 3)	亀山美穂
	3	免疫不全がある患者の看護 HIV/AIDSの病態生理・検査・治療と看護	講義 教科書2), 3)	亀山美穂
	4	自己免疫疾患（膠原病）がある患者の看護 SLEの病態生理・検査・治療と看護	講義 教科書2), 3)	亀山美穂
	5	I型アレルギー、免疫不全、自己免疫疾患の患者事例から、看護問題と計画立案	グループワーク 教科書 1)2), 3), 4)	亀山美穂
	6	看護問題と計画の発表	同上	亀山美穂
	7	化学療法認定看護師からの講義 造血器腫瘍の治療（化学療法）・検査と看護	講義教科書1), 3) 46：輸血の管理	岩科麻見
	8	化学療法認定看護師からの講義 造血器腫瘍の看護と輸血療法	講義 教科書1), 3)	岩科麻見
	9	筆記試験		
	評価方法	グループワーク発表…20%程度の配点 出席状況と課題への取り組み…10%程度の配点 筆記試験…70%程度の配点		
受講生へ要望	すでに講義を受けた身体防御機能（血液・免疫）の解剖・生理学を復習してこの講義に臨んで下さい。 身体防御機能は内部障害であり、見えにくい疾患とされています。「どうなっているか」をイメージしながら講義・グループワークに臨んでください。			
テキスト	② 書名 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 3) 新体系看護学全書 別巻7 内部環境調節機能障害／身体防御機能障害 4) 看護過程に沿った対症看護 第5版			③ 発行所 医学書院 医学書院 メヂカルフレンド社 学研メディカル秀潤社
参考文献	① 書名 病気がみえる vol. 5 血液 ディア 病気がみえる vol. 6 免疫・膠原病・感染症 ディア			③ 発行所 メディックメ メディックメ

看護学科 講義要綱

科目	成人看護の方法Ⅳ (身体防御・感覚・性 生殖機能障害をもつ 患者の看護)	単 位	1	時 間 数	8 (30)	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：佐野 繁 子
----	---	--------	---	-------------	-----------	-------------	----------	-------------	---------------

講義目標	【感覚機能障害】 1 感覚機能のメカニズム、役割を理解する。 2 感覚機能障害が生命や日常生活にどのように影響を与えているのかを理解する。 3 感覚機能障害の症状を理解し、情報収集、アセスメント、看護援助について理解する。 4 感覚機能障害の検査や治療の目的および看護を理解する。 5 感覚機能障害をもつ患者の看護について、主要疾患をもとに学ぶ。						
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	備考や担当者			
	1	<ul style="list-style-type: none"> 感覚器とは 触覚機能障害と検査・治療と看護 視覚機能障害と検査・看護 		講義 小テスト			
	2	<ul style="list-style-type: none"> 視覚機能障害と患者の看護 網膜剥離の患者の治療と看護 硝子体手術と患者の看護と内科（点眼）療法について 	39：経皮・外用薬の与薬方法	講義・グループワーク 小テスト			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 味覚機能障害と患者の看護 味覚機能障害の検査・治療と看護 嗅覚機能障害と患者の看護 鼻咽頭の解剖生理、慢性副鼻腔炎の患者の検査・治療（内科的治療）と看護 	39：経皮・外用薬の与薬方法	講義 小テスト			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚機能障害と患者の患者 耳解剖生理と聴覚障害について 聴覚機能障害の検査・治療 メニエール病の患者の治療と看護 		講義・グループワーク			
評価方法	＊授業参加態度…5点前後の配点 ＊課題提出状況…5点前後の配点 ＊筆記試験…20点前後の配点 ＊小テストは授業の復習と予習を兼ねた内容となっています。						
学生への要望	感覚器機能障害は目に見えにくい障害とされています。そして、主観の障害の為、他者に理解されることが難しくなります。しかし、身近な障害でもあり、生活に大きな影響を与える障害です。このことを、理解するためには、解剖生理やイメージを膨らめさせて授業に臨むことが求められます。						
テキスト	① 書名	② 著者名	③ 発行所				
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼		医学書院				
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉		医学書院				
	看護過程に沿った対症看護 第5版		学研メディカル秀潤社				

看護学科

講義要綱

科目	成人看護の方法Ⅳ (身体防御・感覚・性生殖機能障害をもつ患者)	単位	1	時間数	6 (30)	開講期	1年後期	担当者	看護師：西谷 沙紀
----	------------------------------------	----	---	-----	-----------	-----	------	-----	-----------

の看護)							
------	--	--	--	--	--	--	--

講義の目標	【性・生殖機能障害】 1. 性・生殖機能が人間の生命維持に果たす役割について理解する。 2. 成人期を中心に、性・生殖機能が障害される要因、性・生殖機能が障害された結果、人々の生活にどのような影響が及ぶか理解する。 3. 主要疾患（乳癌・前立腺癌・ED）をもつ患者の理解と看護の必要性について学ぶ。						
	回数	学習内容				備考	
	1	1. 性・生殖機能と日常生活 1) 性・生殖機能の理解とその障害 2) 男性に現れる症状と看護 3) 女性に現れる症状と看護 4) 性・生殖機能障害の検査・治療に伴う看護				*基礎知識に関する確認テスト *ワーク 事例を通して、性・生殖機能障害について考える。	
	2	2. 乳癌患者の看護 1) 乳癌とは 2) 乳癌の自己検診法 3) 診断・進行度 4) 治療と看護				*事前課題有 関連図（乳癌）の作成 *テキスト『女性生殖器』 使用	
3	3. 前立腺癌患者の看護 1) 前立腺癌とは 2) 診断・進行度 3) 治療と看護 4. ED患者の看護 1) EDとは 2) 治療と看護				*事前課題有 関連図（前立腺癌）の作成 *テキスト『腎・泌尿器』 使用		
評価方法	筆記試験（配点25点） 事前課題（関連図）の内容及び提出状況 授業やワークに参加する態度や出席率						
受講生へ要望	1年後期に履修した解剖生理学Ⅳ（性・生殖機能）、病態生理学Ⅳ（性・生殖機能）の知識を基に講義します。復習をしておいてください。 *『看護師の実践能力 Ⅲ群 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力』の獲得に向けて学習を進めます。						
テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		②著者名 成人看護学[9] 女性生殖器 成人看護学[8] 腎・泌尿器		③発行所 医学書院 医学書院		
参考文献	①書名 新体系看護学全書 別巻9		②著者名 運動機能障害／性・生殖機能障害		③発行所 メディカル フレンド社		

看護学科 講義要綱

科目	成人看護の方法Ⅴ (機能障害をもつ患者への看護実践の方	単位	1	時間数	30	開講期	2年後	担当者	看護師：中村 卓樹 (16) 木下真理子
----	--------------------------------	----	---	-----	----	-----	-----	-----	----------------------------

評価方法	<p>配点（中村50点・木下50点）</p> <p>出席状況</p> <p>木下50点の内容</p> <p>演習・グループワーク：評価表（ルーブリック）50点</p>						
受講生への要望	<p>臨地実習で活用する知識の学習です。積極的に学習してください。</p> <p>アセスメントに必要な辞書や参考文献も準備してください。</p>						
テキスト	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>③ 書名</p> <p>中村 系統看護学講座 専門分野 I 写真でわかる臨床看護技術② 木下</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>② 著者名</p> <p>基礎看護技術 II 本庄 恵子</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>③ 発行所</p> <p>医学書院 インターメディカ</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <p>※ 成人看護学のテキスト全般、その他関連するテキスト</p> </td> </tr> </table>	<p>③ 書名</p> <p>中村 系統看護学講座 専門分野 I 写真でわかる臨床看護技術② 木下</p>	<p>② 著者名</p> <p>基礎看護技術 II 本庄 恵子</p>	<p>③ 発行所</p> <p>医学書院 インターメディカ</p>	<p>※ 成人看護学のテキスト全般、その他関連するテキスト</p>		
<p>③ 書名</p> <p>中村 系統看護学講座 専門分野 I 写真でわかる臨床看護技術② 木下</p>	<p>② 著者名</p> <p>基礎看護技術 II 本庄 恵子</p>	<p>③ 発行所</p> <p>医学書院 インターメディカ</p>					
<p>※ 成人看護学のテキスト全般、その他関連するテキスト</p>							
参考文献	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>① 書名</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>② 著者名</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>③ 発行所</p> </td> </tr> </table>	<p>① 書名</p>	<p>② 著者名</p>	<p>③ 発行所</p>			
<p>① 書名</p>	<p>② 著者名</p>	<p>③ 発行所</p>					

看護学科

講 義 要 綱

科目	老年看護の方法Ⅰ (高齢者の健康生活への援助)	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	看護師：亀山 美穂
----	----------------------------	----	---	-----	----	-----	------	-----------

講義目標	老年期にある対象の日常生活力とそれに及ぼす影響を理解し（高齢者疑似体験の実際からも）、健康生活への援助について学ぶ。							
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目			備考		
	1	高齢者とのコミュニケーション① 老化がコミュニケーションに及ぼす影響						
	2	高齢者とのコミュニケーション② 【演習】				事前課題 高齢者の疑似体験 高齢者インタビュー		
	3	高齢者の日常生活力アセスメント① 高齢者が体験している生活の理解				事前課題 高齢者の疑似体験 環境調査 高齢者インタビュー		
	4	高齢者の日常生活力アセスメント② 高齢者の日常生活力アセスメントの視点						
	5	老化が食生活に及ぼす影響を理解し、 食生活を整えるための援助① 高齢者の摂食嚥下機能のアセスメント				事前課題 摂食嚥下機能の復習		
	6	老化が食生活に及ぼす影響を理解し、 食生活を整えるための援助② 嚥下機能に合わせた食形態の工夫 とろみ製剤の活用の検証成果の共有	4：食事指導			事前課題 とろみ製剤の種類と食物による違い嚥下食をつくり食べる体験 嚥下食の種類・価格調査		
	7	老化が食生活に及ぼす影響を理解し、 食生活を整えるための援助③ 【演習】 嚥下訓練・義歯の手入れと着脱 口腔ケア	26：口腔ケア			事前課題 義歯の種類、義歯の着脱・手入れを調べる		
	8	高齢者の脱水のリスクと予防				事前課題 水・電解質バランスの復習		

9	老化が排泄機能に及ぼす影響を理解し排泄を整えるための援助① 【演習】 おむつの排泄体験を活かしたおむつの選択と着脱 尿失禁の種類と援助	17：排泄援助 (オムツ)	事前課題 おむつの種類と特徴、 価格・購入方法の調査、 使える制度
10	老化が排泄機能に及ぼす影響を理解し排泄を整えるための援助② 【演習】 便秘予防と排便困難時のケア	11：摘便	事前課題 便秘予防 摘便の適応と留意点
11	腰・膝に痛みがある高齢者の生活援助 【演習】 痛みを増さない姿勢・動き方 杖の活用	14：歩行介 助 (杖歩行) 17：自動・ 他動運動 (自動運 動)	事前課題 痛みを増さない援助を 調べる
12	かゆみがある高齢者の生活援助 かゆみの要因とかゆみの影響の理解 と援助 【演習】	20：整容 (爪切り)	事前課題 かゆみを増さない援 助、かゆみによる影 響を最小にする援助を調 べる
13	生活の活性化を促す援助		事前課題 アクティビティケアに ついて調べる
14	高齢者の健康生活について探求した成 果と援助への提案 グループへの発信		事前課題 高齢者の健康生活につ いて探求した成果を資 料にまとめる
15	学習成果を確認 筆記試験		
評価 方法	<p>・筆記試験70点、・課題30点 ・課題の提出状況</p> <p>講義・演習を通して高齢者がどんな生活を体験しているのか想像し、高齢者の援助について思ったこと・考えたことを大切にしたいと願っています。それを表現する課題を随時出す予定でいます。それを評価対象とします。 *課題は決められた提出期限内に提出されてはじめて評価対象とし、その上で内容を評価します。講義開始時にループリックを示します。</p>		
学生 への 要望	<p>高齢者の日常生活の援助を学んでいくためには、1年次に学んだ基礎看護学の知識・技術、老年期の特徴が基盤になります。既習の知識・技術を振り返り、主体的な学習を期待します。</p> <p>そして、高齢者の生活している場面を意識して見つめる、高齢者が何を感じ思いながら生活しているのか聴いてみるなど日頃から関心を持っていく姿勢を期待します。</p>		
テキ スト	①書名 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 書院	②著者名	③発行所 医学

参 考 文 献	① 書名	② 著者名	③ 発行所
	国民衛生の動向2021/2022		(財)厚生統
	計協会		
	健康の地図帳	大久保昭行	講談社
	生活機能からみた老年看護過程		医学書院
	系統看護学講座 専門Ⅰ基礎看護技術Ⅱ		医学書院
	根拠がわかる在宅看護技術 第3版	正野逸子	メヂカルフレ
	ンド社		

看護学科 講 義 要 綱

科 目	老年看護の方法Ⅱ (生活機能障害による単 り治療を選択し生活位 する高齢者の看護)	1	時 間 数	30	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：今井 弓珠 (26) フラピエかおり(2) 認知症看護認定看護師： 釜下 佳代子(2)
--------	--	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	---

講 義 目 標	治療や障害を受けながら生活していく高齢者を理解し、看護実践をするための方法を学ぶ。							
講 義 計 画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目・備考				担当者	
	1	高齢者の生活と健康障害の特長の理解					今井	
	2	老化が治療に及ぼす影響の理解 老化が手術中・後に及ぼす影響 老化が薬物動態に及ぼす影響					フラピエ	
	3	薬物療法を受けながら生活していく高齢者の看護(事例展開)	事例を読み取る・経口薬の投与 事例の展開・GW				今井	
	4	手術療法を受ける高齢者に必要な看護 —術後合併症リスクのアセスメント— ～身体拘束・せん妄について～	前立腺肥大患者の事例から看護展開 8：膀胱留置カテーテル管理					
	5	前立腺肥大の手術療法を受ける高齢者の看護 —前立腺肥大の疾患理解—						
6	前立腺肥大の手術療法を受ける高齢者の看護 —入院中の生活や退院後を見据えて—							

7	認知機能障害をもちながら治療・療養生活を送る高齢者への看護の実際		釜下
8	認知症の理解 DVD鑑賞から、看護者としての考察をする	DVD視聴 「ぼけますからよろしくお願いします」	今井
9	認知症をもつ高齢者への関わり方を考える GW／認知症患者・家族の思い	71：精神的安寧を保つためのケア	
10	大腿骨頸部骨折で手術療法をうけた高齢者の看護（事例展開）	1／2 荷重の安静度の患者生活の理解 16：体位変換・保持	
11	大腿骨頸部骨折で手術療法をうけた高齢者の看護（事例展開）	69：安楽な体位の調整 70：安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア	
12	演習 ・弾性ストッキングの着脱 ・禁忌姿勢（三角マクラの使用） ・1／2 荷重の実際 ・膀胱留置カテーテルを挿入しての生活	13：車椅子での移送 15：移乗介助 17：自動・他動運動の援助 52：フィジカルアセスメント 65：安全な療養環境の整備（転倒・転落・外傷予防）	
13	高齢者への看護支援のプレゼンテーション ・手術前の看護 ・手術後の看護 ・膀胱留置カテーテルを挿入中の看護	発表（ロールプレイ）	
14	・膀胱留置カテーテル抜去後の看護 ・1／2 荷重時の看護 ・危険肢位のある患者への看護		
15	終了試験（解説）		今井
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況 ・GWの評価（チームワーク・資料・発表） ・終了試験 		
学生への要望	<p>・老化による生活への影響が増し、治療を受けながら生活を送っている高齢者は多い。</p> <p>障害をもちながら生活する高齢者について、既習の知識を活用し、豊かに想像していくことが必要です。高齢者像をどのように描くかによって看護も変わってきます。事例を展開しながら講義をすすめていきます。主体的な学習を期待します。</p> <p>・認知症をもちながら生活する高齢者は増えています。認知症をもつ高齢者について、病態の理解と体験している世界を豊かに想像していく必要があります。</p> <p>評価方法について初回の授業開始前に事例と共に配布説明をするので掲示板をみて行動しましょう。</p> <p>試験を受けるにあたり、授業時間に加え、出欠席に関係なく、全部のレポートが提出されることが条件となります。</p>		

テキスト	①書名	②著者名		③発行所
	【フラピエ】			
	系統看護学講座	専門分野	老年看護学	医学書院
	系統看護学講座	別巻	臨床外科総論	医学書院
	系統看護学講座	専門基礎分野	薬理学	医学書院
	【釜下】			
	系統看護学講座	専門分野	老年看護学	医学書院
	【今井】			
	系統看護学講座	専門分野	老年看護学	医学書院
	系統看護学講座	別巻	臨床外科各論	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	腎・泌尿器	医学書院	
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	運動器	医学書院	
系統看護学講座	別巻	家族看護学	医学書院	
参考文献	①書名	②著者名		③発行所
	国民衛生の動向2022/2023			(財)厚生統
	計協会 老年看護学概論・老年保健			メジカル
	フレンド社			

看護学科 講義要綱

科目	老年看護の方法Ⅲ (生活機能障害により 長期臥床・終末期にあ る高齢者の看護)	単 位	1	時間 数	15	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：佐野 繁子 (9) 望月 章子 (6)
----	--	--------	---	---------	----	-------------	----------	-------------	-------------------------------

講義目標	長期臥床状態・終末期にある高齢者を理解し、看護を実践するための方法を学ぶ。			
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目・担当備考	
	1	長期臥床している事例から褥瘡のリスクと褥瘡状態を判断し、状態に合わせた援助を考える	佐野繁子	
	2	【演習】 長期臥床している事例のポジショニングが不安定になりやすい高齢者の特徴と療養環境の調整・ポジショニングの工夫を提案する 高齢者の意向を尊重するということを考える 【演習】 特別養護老人ホームに入所している事例への看護師の判断過程から高齢者の意向を尊重する援助を考える	事前課題 担当した事例のポジショニングを準備をする 35：褥瘡予防ケア 69：安楽な体位の調整 グループワーク	

	3	高齢者の終末期の特徴 看護師として「生命の尊厳」について考 える		望月 章子																								
	4	死の迎え方の意向・看取りの意向を尊重 した看護		望月 章子																								
	5	死後のケアとその意味		佐野 繁子																								
	6	遺族を支える援助		望月 章子																								
	7	終末期にある高齢者・家族への看護実践 の提案 【演習】 資料を活用し文献学習してみえた終末期 にある高齢者・家族への看護実践の提案 を発信する。グループで注目した内容を クラスに提案する。	事前課題 文献学習から得た終末期 にある高齢者・家族への 提案の資料作成	佐野 繁子																								
	8	学科試験		佐野 繁子																								
* 講義の順序は変更する可能性あり																												
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆記試験 70点（佐野30点、望月40点） ・ 課題 30点（佐野） <p>事例を読み、倫理の知識を活用し意向を尊重する関わりについて考え、仲間に 発信する 探究したいテーマを体験・文献から見出し、探究した学習成果を看護実践の提 案としてまとめ、仲間に発信・共有する 詳細は講義開始前に説明します</p>																											
受講 生へ の要 望	<p>寝たきりにならずに生を全うすることは難しいのが現状です。終末期にある高 齢者の特徴を理解しようと努め、看護について考えるということは、看護師と して生きること・死ぬことを考える機会になります。実習で出逢った高齢者の 寝たきり要因や影響の大きさ、人生の中の死後のケアの体験がある方はその体 験を振り返りながら、生命の尊厳について真剣に考え、学んでいきましょう。 新型コロナウイルス感染症がエンド・オブ・ライフケアにもたらす影響につい ても注目していきましょう。文献に出会い探求していく学習は、新たな発見に つながります。授業内でも紹介します。</p>																											
テキ スト	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">① 書名</td> <td style="width: 33%;">② 著者名</td> <td style="width: 33%;">③ 発行所</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 専門分野 老年看護学 野使用)</td> <td></td> <td>医学書院（望月・佐</td> </tr> <tr> <td>第5版 看護のための人間発達学</td> <td>舟島なをみ</td> <td>医学書院（佐野使</td> </tr> <tr> <td>用)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論</td> <td></td> <td>医学書院（望月使</td> </tr> <tr> <td>用)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II</td> <td></td> <td>医学書院 2・5回目</td> </tr> <tr> <td>（佐野使用）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				① 書名	② 著者名	③ 発行所	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 野使用)		医学書院（望月・佐	第5版 看護のための人間発達学	舟島なをみ	医学書院（佐野使	用)			系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論		医学書院（望月使	用)			系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II		医学書院 2・5回目	（佐野使用）		
① 書名	② 著者名	③ 発行所																										
系統看護学講座 専門分野 老年看護学 野使用)		医学書院（望月・佐																										
第5版 看護のための人間発達学	舟島なをみ	医学書院（佐野使																										
用)																												
系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論		医学書院（望月使																										
用)																												
系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II		医学書院 2・5回目																										
（佐野使用）																												
参考 文 献	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">① 書名</td> <td style="width: 33%;">② 著者名</td> <td style="width: 33%;">③ 発行</td> </tr> <tr> <td>所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国民衛生の動向2022/2023</td> <td></td> <td>(財) 厚生</td> </tr> <tr> <td>統計協会</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				① 書名	② 著者名	③ 発行	所			国民衛生の動向2022/2023		(財) 厚生	統計協会														
① 書名	② 著者名	③ 発行																										
所																												
国民衛生の動向2022/2023		(財) 厚生																										
統計協会																												

看護学科 講 義 要 綱

科目	小児看護の方法Ⅰ (小児の成長発達と看護)	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	担当者	看護師：松本 めぐみ
----	--------------------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	------------

講義目標	子どもの成長・発達の特徴を理解し、日常生活への援助の方法を学ぶ。小児を取り巻く環境やさまざまな問題をふまえ、子どもが健やかに育つために必要な支援の方法を学ぶ。									
講義計画	回数	学習内容							備考	
	1	小児看護の方法Ⅰ オリエンテーション 小児の成長発達 発達の評価							課題提示	
	2	新生児期の特徴と看護 胎児循環から新生児循環への移行 新生児期の生理的特徴、形態的特徴 母乳栄養と看護 新生児と家族の看護								
	3	乳児の特徴と看護 形態的特徴、生理的特徴、運動機能、知的機能 コミュニケーション、情緒・社会的機能と看護 免疫グロブリンについて								
4	小児の栄養と離乳食 小児の栄養の特徴と意義 乳児期の栄養の特徴と離乳食									

5	幼児の特徴と看護 形態的特徴、生理的特徴、運動機能、知的機能、 コミュニケーションの発達、情緒・社会的機能と 看護	
6	幼児の生活援助 日常生活動作の自立状況に応じた援助	
7	離乳食を作ってみよう！！	調理実習室（試食会）
8	乳幼児に予測される事故 事故防止	グループワーク
9	学童の特徴と看護 自己の学童期を振り返り、学童期の特徴を学ぶ	
10	遊びの工夫（室内での遊び）発表会	遊びの工夫発表会
11	乳幼児の生活援助を体験しよう！ おんぶ、抱っこ、バギー体験、更衣とおむつ交換	演習 看護師教育の技術項目 7 排泄援助
12	思春期の特徴と看護 第二次性徴における生理的変化、知的特徴 思春期の心と看護	
13	小児の抱える問題	新聞スクラップ
14	小児を理解しよう！	
15	学科試験	
評価方法	出席状況と課題への取り組み 筆記試験 70% + レポート 30% レポート課題（詳細は講義開始時に説明します） 小児各期の成長・発達について	
受講生への要望	<p>日頃、子どもたちと接したことがない学生も多いと思いますが、自分の頭の中で具体的にイメージできるようテレビや新聞などの子どもに関する記事を見逃さないようにしましょう。登下校中などに出会う子どもたちの姿に少し注意して観察するようにしてみてください。また、自分の子ども時代の写真や作成した絵（作品など）などを見直して、小児期を振り返ってみてください。機会があったら、ご家族に『どんな子どもだったか』自分の子ども時代の話聞いてみましょう。</p> <p>授業の中で、小児を取り巻く社会のあり方について一緒に考えていきたいと思っています。新聞や雑誌、TVなどから積極的な情報収集を行ってください。みなさんの新聞スクラップに取り入れてください。</p> <p>*この講義を通して、ヒューマンケアの基本的な能力の一つ、「対象理解」の力を養っていきます。また、小児看護における安全なケアと環境の確保について学んでいきます。</p>	

テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 書院	②著者名 小児看護学概論 小児臨床看護総論	③発行所 医学
	系統看護学講座 専門分野 書院	小児臨床看護各論	医学
	ナーシング・グラフィカ ディカ出版	小児看護技術 中野綾美編	メ
参考文献	①書名 写真でわかる小児看護技術 改訂第3版 ディカ	②著者名	③発行所 インターメ
	国民衛生の動向 2021/2022 計協会		(財)厚生統

看護学科 講義要綱

科目	小児看護の方法Ⅱ (小児の健康障がいの特徴・小児看護実践の方法)	単位	1	時間数	30	開講期	2年後者 期	担当	医師：進藤 淳也 (10) 西田 光宏 (10) 看護師：松本 めぐみ (10)
----	-------------------------------------	----	---	-----	----	-----	-----------	----	---

講義の目標	小児期に特有な疾患及び治療の実際を理解し、必要な看護を学ぶ。 1. 小児の健康障がいの特徴を学ぶ。 2. 小児が健康障がいを抱えることで児や家族に及ぼす影響について考え、看護の具体的方法を学ぶ。							
回数	内容						担当	備考

講義計画	1	低身長について 成長ホルモン	進藤	
	2	染色体異常について ダウン症候群 プラダーウィリー症候群	進藤	
	3	新生児について 先天奇形 乳幼児突然死症候群	進藤	
	4	小児の感染症と予防接種 インフルエンザ	進藤	
	5	冬に流行する疾患 ノロウイルス ロタウイルス RSウイルス	進藤	
	6	ネフローゼ症候群 I型糖尿病	西田	
	7	循環器疾患 先天性心疾患 川崎病	西田	
	8	小児のけいれん 熱性けいれん てんかん	西田	
	9	小児のアレルギー疾患 気管支喘息 クループ 食物アレルギー	西田	
	10	新生児疾患 低出生体重児に起こりやすい問題	西田	
	11	健康障がいを抱えた小児と家族の理解 在宅で療養する小児と家族の理解	松本	事例の理解 (グループワーク)
	12	事例展開と看護計画の立案 指導案の立案と作品作り	松本	指導案の作成 (個人ワーク)
	13	気管支喘息 ネフローゼ症候群 I型糖尿病 脳性麻痺 血小板減少性紫斑病	松本	作品作り
	14	事例展開	松本	作品作り
	15	終了試験、指導案と作品の発表	松本	クラス発表
評価方法	筆記試験（上牧・西田） 課題内容と取り組みの姿勢を提出物で評価（松本）			

<p>受講生への要望</p>	<p>(上牧・西田) 予習は必要ないが、授業で話した内容は今後、実践に役立つ内容が多い為、一語一句聞きもらさぬ様集中してほしい。 講師をたじろがせる様な質問も期待している。 単元テストの難易度は授業態度をみて決める。</p> <p>(松本) 在宅で療養する小児の援助を考えるために事例を用い、年齢や性格から成長発達を考慮したプランを立案し、小児に合わせた指導内容や説明方法を検討していきます。 子どもやその家族への指導では、対象に合わせた楽しい計画を期待しています。 疾患の理解を深めるため、指導に必要な本を自分たちで積極的に探していきましょう。</p>															
<p>テキスト</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="252 701 954 768">① 書名 発行所</td> <td data-bbox="954 701 1353 768">② 著者名</td> <td data-bbox="1353 701 1394 768">③</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 768 954 846">系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 学書院</td> <td></td> <td data-bbox="1353 768 1394 846">医</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="252 891 1394 925">学内教員のみ使用するテキスト</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 925 954 1003">系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 学書</td> <td></td> <td data-bbox="1353 925 1394 1003">医</td> </tr> </table>	① 書名 発行所	② 著者名	③	系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 学書院		医	学内教員のみ使用するテキスト			系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 学書		医			
① 書名 発行所	② 著者名	③														
系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 学書院		医														
学内教員のみ使用するテキスト																
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 学書		医														
<p>参考文献</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="252 1014 954 1081">① 書名 発行所</td> <td data-bbox="954 1014 1353 1081">② 著者名</td> <td data-bbox="1353 1014 1394 1081">③</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1081 954 1160">ナーシング・グラフィカ小児看護③小児の疾患と看護 ディカ出版</td> <td></td> <td data-bbox="1353 1081 1394 1160">メ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1160 954 1238">エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 法規</td> <td></td> <td data-bbox="1353 1160 1394 1238">中央</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1238 954 1317">発達段階からみた 小児看護過程 書院</td> <td></td> <td data-bbox="1353 1238 1394 1317">医学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1317 954 1395">根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第2版 書院</td> <td></td> <td data-bbox="1353 1317 1394 1395">医学</td> </tr> </table>	① 書名 発行所	② 著者名	③	ナーシング・グラフィカ小児看護③小児の疾患と看護 ディカ出版		メ	エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 法規		中央	発達段階からみた 小児看護過程 書院		医学	根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第2版 書院		医学
① 書名 発行所	② 著者名	③														
ナーシング・グラフィカ小児看護③小児の疾患と看護 ディカ出版		メ														
エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 法規		中央														
発達段階からみた 小児看護過程 書院		医学														
根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第2版 書院		医学														

看護学科 講義要綱

科目	小児看護の方法Ⅲ 健康障がいをもつ 子どもの看護・小 児特有の看護技術	単 位	1	時間 数	30	開 講 期	2年 後期	担 当 者	西澤 浩子 (2) 看護師： 松本 めぐみ (26) 原 との子 (2)
----	--	--------	---	---------	----	-------------	----------	-------------	---

講 義 の 目 標	さまざまな健康障がいをもつ小児に対する看護の実際と、家族への看護について学ぶ。 1. 小児の健康障がい、成長発達や日常生活に及ぼす影響を理解する。 2. 小児のさまざまな健康レベルにおける小児と家族の特徴を理解する。 3. 成長発達の妨げを最小限にし、子どもの最善の利益を目指した看護を実践するために必要な知識を学ぶ。 4. 小児看護特有の看護技術を体験的に学ぶ。								
講 義 計 画	回数	学習内容	担当	備考 看護師教育の技術項目					
	1	健康障がい子どもと家族に及ぼす影響 ・子どもの健康問題と看護の方向性	松本 めぐみ						
	2	子どもにとっての病院環境とその看護 ・外来環境と入院環境 ・外来・入院における子どもと家族の看護	松本 めぐみ						
	3	急性期、慢性期ある子どもと家族の看護 ・感染症に罹患した子どもと家族の看護 ・症状を示す子どもの看護 ・検査や処置を受ける子どもの看護	松本 めぐみ	課題ワーク 「症状を示す子どもの看護」について、調べ学習の後、小冊子を作製する					
	4	地域で暮らす健康や発達に障がいのある子どもと家族の理解 ・健康や発達に障がいのある子どもと家族の生活とニーズ ・健康や発達の障がいを抱えながら社会や地域の中で暮らす子どもと家族への社会的支援の実際	特定非営利 活動法人 びゅあ 西澤浩子						
	5	在宅療養中の子どもと家族の看護 ・在宅療養中の子どもと家族の特	訪問看護ス テーション	事後課題 「健康や発達に障がいのあ					

	徴 ・小児の在宅療養を支える家族の支援 ・小児訪問看護の実際	あおむし所 長 原との子	る子どもと家族に対する、 地域における看護」
6	手術を受ける子どもと家族の看護 ・プレパレーション	松本 めぐみ	
7	終末期にある子どもと家族の看護 ・小児の死の概念 ・緩和ケア	松本 めぐみ	
8	救急救命処置の必要な子どもと家族の看護 ・小児の事故	松本 めぐみ	
9	ハイリスク新生児の子どもと家族の看護 ・ハイリスク新生児の理解 ・ハイリスク新生児と家族の看護	松本 めぐみ	課題レポート 「ハイリスク新生児の看護の実際」
10	こころに障がいのある子どもと家族の看護 子どもの心の反応とその特徴 発達障がいとその支援方法 小児の虐待と看護	松本 めぐみ	
11	小児看護に必要な技術〔講義〕	松本 めぐみ	事前課題 「小児看護に必要な技術、援助の方法」
12	小児看護に必要な技術〔演習〕 1. 身体計測、バイタルサインの測定	松本 めぐみ	演習 50: バイタルサインの測定
13	小児看護に必要な技術〔演習〕 2. 抑制、与薬、輸液の管理	松本 めぐみ	51: 身体計測
14	災害を受けた子どもの看護	松本めぐみ	
15	終了試験	松本めぐみ	
評価方法	筆記試験 課題レポート		
受講生への要望	小児看護学概論・小児看護の方法Ⅰ・Ⅱを基盤として成り立っている科目です。全科にわたる健康障害を対象とする幅広い小児看護を、限られた時間の中で学習していきます。専門基礎科目・基礎看護学・成人看護学・家族看護学を含めた既習の知識を総動員して応用していくので、今までの知識の引き出しをしっかりと整理しておいてください。 また、健康障がいを持つ子どもと家族の新聞記事や、自分の生活の周りにいる支援を必要としている子どもと家族に関心を持ち、子ども目線にシフトして看護を考えることができるように準備して臨んでください。		
テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論	②著者名	③発行所 医学

スト	書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学 書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学 書院 ナーシング・グラフィカ 小児看護技術 中野綾美編 × ディカ出版
参考文献	① 書名 ③ 発行所 こどもの病気の地図帳 鴨下重彦 柳沢正義監修 講 談社 ナーシング・グラフィカ 小児の発達と看護 中野綾美編 × ディカ出版 写真でわかる小児看護技術 改訂第3版 インターメ ディカ

看護学科 講 義 要 綱

科目	母性看護の方法Ⅰ (妊娠・分娩の 正常・異常と看 護)	単 位	1	時 間 数	30	開 講 期	2年 前期	担 当 者	医師： 立岡 和弘 (8) 助産師：松島 しのぶ (6) 西谷 沙紀 (16)
----	--------------------------------------	--------	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	---

講義の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 正常な妊娠・分娩のメカニズムについて学び、妊娠・分娩の経過・産婦の健康度を理解する。 2 出生前診断の方法、母体・胎児のリスクについて学ぶ。 3 正常な妊娠・分娩経過から、妊娠・分娩期の妊産婦の状態を診断し、アセスメントする方法を学ぶ。妊娠・分娩期における看護技術理解する。 4 妊娠・分娩中におこる異常・問題について学び、治療や対応について理解する。 5 妊娠・分娩期の特徴を理解し、異常の予防または異常を最小限にとどめる援助について学び、実際の場面で看護が展開できる基礎を築く。 									
講義計画	回数	学習内容				看護師教育の技術項目		備考	担当者	
	1	出生前診断、妊娠の生理、胎児の発育と妊娠経過、妊婦健康診査				52：フィジカルアセスメント		講義	立岡和弘	
	2	分娩の生理、分娩の経過				70：安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア		講義		
	3	妊婦と胎児の生理的变化						講義	西谷沙紀	
	4	妊婦と胎児のアセスメント						講義		
	5	妊婦と家族の看護						講義		
	6	分娩の機序と産婦の身体的変化						講義ワーク		
	7	分娩が胎児に及ぼす影響						講義		
	8	産痛緩和のケア						講義		
9	妊娠期に必要な看護技術						演習			

	10	妊娠期の異常（不妊症、不育症）		講義	立岡和弘
	11	分娩期の異常（分娩の3要素の異常）		講義	
	12	妊娠の異常と看護		講義	松島しのぶ
	13	分娩の異常と看護		講義	
	14	異常分娩時の産婦の看護		講義	
	15	終了試験			西谷
評価	出席 授業態度 課題提出状況と内容 筆記試験100点 (妊娠分娩の正常15点・異常15点、正常の看護50点、異常の看護20点)				
受講生の要望	女性の生涯の中で子どもを産み育てることは大切な使命ですが、看護が健康な女性への関りのため、専門的な視点を持たないと見えない部分が多くあります。身近に妊産婦がいないために想像できない部分もあると思いますが、既習の解剖生理学・病態学を想起し、それらと関連させながら理解を深めてください。 講義では看護師に求められる実践能力のⅠ群、「胎生期から死までの生涯各期の成長・発達・加齢の特徴に関する知識をもとに対象者を理解する」Ⅲ群「健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力」の獲得を目指します。				
テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 み使用) 系統看護学講座 別巻 家族看護学 み使用)		②著者名		③発行所 医学書院 医学書院(学内教員の 医学書院(学内教員の
参考	①書名 母性看護学Ⅰ 妊娠・分娩 師薬出版		②著者名 医		

看護学科 講義要綱

科目	母性看護の方法Ⅱ (産褥の正常・異常と看護)	単位	1	時間数	30	開講期	2年後期	担当者	医師：立岡和弘(6) 助産師：松島しのぶ(6) 看護師：松本めぐみ(18)
----	---------------------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---

講義の目標	1 産褥期の正常な身体的変化を理解し、産褥経過と産褥の健康状態の診断の視点を学ぶ。 2 産褥期にみられる異常と産褥におこる問題について学び、治療や対応について理解する。 3 産褥の身体的変化を理解し、産褥経過の健康状態をアセスメントする方法を学ぶ。 4 産褥・家族の心理的・社会的変化を理解し、母親役割の獲得過程や家族のサポートの必要性、家族を含めた退院後の生活指導について学び、産褥に必要な看護技術を実践できる力を養う。 5 産褥期の異常を理解し、異常の予防または異常を最小限にとどめる援助について学ぶ。					
講義回数	1	学習内容	産褥期の身体的変化、産後の健康診査の内容	備考	担当	立岡和弘

計画	2	産褥期の異常（子宮・乳房等）、帝王切開術術後管理			
	3	産褥期の精神障害（マタニティブルーズ・産後うつ病）			
	4	産褥期の身体的変化と看護の視点（退行性変化）		松本 めぐみ	
	5	産褥期の身体的変化と看護の視点（進行性変化）			
	6	育児支援、家族に対する看護、母子に関わる法令			
	7	新生児の生理と機能			
	8	新生児の診断、健康状態のアセスメント			
	9	新生児の出生直後から退院までの観察と看護			
	10 11	産褥期に必要な看護技術	演習		
	12	産褥の異常の看護（子宮・乳房）			松島 しのぶ
	13	産褥の異常の看護（精神障害について）		松島 しのぶ	
	14	産褥の異常の看護 まとめ		松島 しのぶ	
	15	終了試験		松本 めぐみ	
	評価方法	出席状況 授業態度 筆記試験			
	受講生の要望	既習の解剖生理学・病態学を想起し、母性看護の方法Ⅰで学んだことを関連させながら理解を深めてください。 産褥期の状態は、母性看護の方法Ⅰで学習した妊娠・分娩の経過と連続していることを念頭に置き、学習していきましょう。 また、3年次の母性看護学実習で実践できるための知識となるので、プリントやノートはまとめて保存しておくと思ひます。			
テキスト	④ 書名 系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 系統看護学講座 別巻 家族看護学		②著者名 医学書院 医学書院（学内教員のみ使用） 医学書院（学内教員のみ使用）		
参考文献	① 書名 母性看護学Ⅱ 出版 新訂版 周産期ケアマニュアル第2版 版		②著者名 有森直子編 立岡弓子 ③発行所 医師薬 サイオ出版		

看護学科 講 義 要 綱

科目	母性看護の方法Ⅲ 新生児の異常と看護	単位	1	時間数	7 (15)	開講期	2年 後期	担当者	助産師：西谷 沙純
----	-----------------------	----	---	-----	-----------	-----	----------	-----	-----------

講義の目標	1. 新生児の異常として、早産、低出生体重児、高ビリルビン血症について学ぶ。 2. 低出生体重児と高ビリルビン血症の看護について理解する。 3. 新生児の日常の看護技術について学ぶ。
-------	---

	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	備考
講義計画	1	低出生体重児と看護 ・低出生体重児とは ・特有の疾患 ・管理・治療・予後・看護		講義 学習範囲 教科書P497-506
	2	高ビリルビン血症と看護 ・黄疸のリスク因子 ・病的黄疸 ・検査・治療・看護 ディバロップメンタルケア 沐浴デモンストレーション見学	28：新生児の 沐浴・清拭	講義と演習見学 学習範囲 教科書P506-514 沐浴に向け事前課題
	3	演習 新生児の日常の看護（沐浴）		演習 学習範囲 教科書P307-315 沐浴後レポートあり
	4	筆記試験		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度 ・レポート（10点） ・筆記試験（30点） 			
受講生への要望	<p>既習の妊娠・分娩・産褥の生理、正常な経過を踏まえた看護について見直すことで理解が深まると思います。</p> <p>この講義を通し、看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標のⅠ群-A「対象の理解」、Ⅱ群「対象者の状態に合わせて安全安楽に留意しながら看護を実施する」、Ⅲ群「健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践の力」を獲得できるように学習していきましょう。</p>			
テキスト	① 書名 所 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 院 系統看護学講座 専門分野 院	② 著者名 母性看護学概論 母性看護学各論	③ 発行 医学書 医学書	
参考文献	① 書名 行所 写真でわかる母性看護技術 メディカ	② 著者名	③ 発行 インター	

看護学科 講義要綱

科目	母性看護の方法Ⅲ （女性生殖機能障害を持つ患者の看護）	単位	1	時間数	8 (15)	開講期	2年 後期	担当者	看護師：西谷 沙紀
----	--------------------------------	----	---	-----	-----------	-----	----------	-----	-----------

講義の目標	女性生殖器疾患を取り巻く環境の変化による疾患の推移や、生殖器に障害をもつ患者の心理、プライバシーの保護の意味を理解し、必要な看護について学ぶ。							
	1. 女性生殖機能障害をもつ患者の特徴について考える。							
	2. 女性生殖器に発生する疾患を理解し、その看護について学ぶ。							
	講義計画	回数	学習内容				備考	
		1	1. 女性生殖器疾患患者の特徴 1) 患者の特徴 2) 看護師の役割 2. 月経異常・月経随伴症状と 1) 症状と治療 2) 月経前症候群 (PMS) と看護 3) 子宮内膜症患者の看護				* 学習範囲 教科書P2~95 教科書P173~180 P259~262 P127~128	
2		3. 不妊症と看護 1) 性感染症 (STD)				* 事前課題：不妊症の理解 教科書P180~199, 262~271		
3		4. 子宮がん患者の看護 1) 子宮頸がんと子宮体がんの比較 2) 診断と進行度の分類 3) 手術療法と看護 4) 放射線療法と看護 5) 化学療法と看護				* 事前課題：子宮がんの理解 * 学習範囲 教科書P116~124 教科書P277~298		
4	5. 卵巣腫瘍と看護 1) 手術療法と看護 2) ホルモン補充療法と看護				* 事前課題 卵巣腫瘍の理解 教科書P138~145, 342~355			
評価方法	筆記試験 (配点60点) 事前課題 (疾患の理解) の内容及び提出状況 授業やワークに参加する態度や出席率							
受講生へ要望	女性生殖器疾患の理解は、成人看護学の生殖器に障害のある人の看護と合わせて学びを深めて下さい。 * 『看護師の実践能力 Ⅲ群 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力』の獲得に向けて学習を進めます。							
テキスト	① 書名 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		② 著者名 女性生殖器			③ 発行所 医学書院		
参考文献	② 書名 新体系看護学全書 別巻9		② 著者名 運動機能障害/性・生殖機能障害			③ 発行所 メヂカルフレンド社		

看護学科 講義要綱

科目	精神看護の方法Ⅰ (こころの健康障害の診断と治療)	単位	1	時間数	15	開講期	2年前期	担当者	医師：鈴木光二郎 (14) ：山崎透 (2)
----	------------------------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---------------------------

講義の目標	<p>精神障害をもつ人についての理解を深め、患者看護の基本を学ぶ。</p> <p>入院中心医療から、地域精神医療への転換が図られている。現在、精神障害をもつ人が、社会に参加しながら生き生きと生活するためには、看護師がどのように寄り添っていけば良いかを一緒に考えていきたい。そのために精神科の基本的知識を理解し、看護に活かせるように身につけることを目標とする。</p>			
講義計画	回数	学習内容	担当	備考
	1	現代社会と精神科	鈴木光二郎	
	2	統合失調症		
	3	気分障害		
	4	神経症性障害		
	5	器質性精神障害 発達障害		
	6	依存症		
	7	精神医学の歴史		
8	精神の発達 心が大人になるプロセス	山崎 透		
評価方法	<p>出席状況 筆記試験</p>			
受講生への要望	<p>精神看護学に興味をもって真剣に授業に臨んで下さい。</p>			
テキスト	<p>①書名 ②著者名 ③発行所 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 新体系看護学全書 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社（依存症の 講義持参）</p>			
参考文献	<p>①書名 ②著者名 ③発行所</p>			

看護学科 講義要綱

科目	精神看護の方法Ⅱ (こころの健康障害 をもつ人の看護)	単 位	1	時 間 数	30	開 講 期	2年 前期	担 当 者	篁 宗一(8) 近藤美保(4) 遠藤りら (4)、 精神保健福祉士：寺田和弘 (4)
----	-----------------------------------	--------	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	--

										保健師：酒井芸子（2） 看護師：坂本希世子（8）
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----------------------------

講義の目標	1 人間の心のはたらきや関係の中の人間の意味がわかる。 2 現代社会における精神障害者を知り、精神看護学の基本的な考え方がわかる。 3 精神科における看護の役割がわかる。 4 精神障害と法制度がわかる。										
	講義計画	回数	学習内容							担当者	
		1	地域への入院患者の移行 法律の概要							篁 宗一	
		2	職場のメンタルヘルス 地域生活の実施								
		3	地域の精神障害者支援								
		4	看護の実態と予防 心のケアとは何か								
		5	地域生活を支えるための社会資源・サービス							近藤美保	
		6	グループホーム、自立支援、デイケア、就労支援など								
		7	身体疾患を持つ患者の精神保健上の問題							遠藤りら	
		8	リエゾン精神看護とは何か リエゾナーズの役割と活動の実際								
		9	精神障害と法制度							寺田和弘	
		10	精神科看護と法律・制度 法律・制度における課題								
		11	ケアの人間関係 ケアの原則・方法							坂本希世子	
		12	ケアの人間関係 プロセスレコードを活用した関係づくり								
		13									
14		看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス							酒井芸子		
15	終了試験							坂本希世子			
評価方法	授業の出席状況と授業態度・課題及び終了試験（筆記試験）の結果を総合して評価します。										
受講生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中は集中して聴いてください。尚、疑問があれば、遠慮なく質問してください。 ・専門用語が多い為、電子辞書を持参して下さい。 										
テキスト	①書名		②著者名				③発行所				
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ		精神看護の基礎				医学書院				
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ		精神看護の展開				医学書院				
参考文献	① 書名		② 著者名				③ 発行所				
	精神保健福祉白書（2021年度版）		一歩み始めた地域総合支援－				精神保健福祉白書編集委員会 中央				
	法規出版										
	学生のための精神医学		医歯薬出版								

看護学科 講義要綱

科目	精神看護の方法Ⅲ （こころの健康障害 をもつ人の地域生活	単位	1	時間 数	15	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師：垣田 有香
----	------------------------------------	----	---	---------	----	-------------	----------	-------------	-----------

を 支える援助)								
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

講義の目標	1 精神科における入院治療の意味を理解し、看護の役割について考える。 2 心の痛みがどのように身体で表現されるかを知り、精神科に多い身体合併症とその看護、精神科で行われるケアの実際について理解する。 3 精神障害者が安定した地域生活を送ることができるためにどのような看護が行われているかを理解する。			
講義計画	回数	学習内容		備考
	1	1 精神科における看護の役割		
	2	入院治療の意味		
	3	治療的環境とは		
	4	緊急事態に対処する		
	5	回復を助ける（治療と回復、精神科におけるリハビリテーション、SST）		
	6	2 身体をケアする		
	7	精神科の治療と身体ケア 精神科看護の実際		
	8	3 地域における精神看護 地域での看護の実際		
	8	筆記試験		
評価方法	筆記試験、演習態度、課題等による総合評価			
受講生への要望	精神看護の方法Ⅰ・Ⅱの授業を振り返って臨んでください。			
テキスト	①書名 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野	②著者名 精神看護の基礎 精神看護の展開	③発行所 医学書院 医学書院	
参考文献	①書名	②著者名	③発行所	